

キャラクター名 プレイヤー名

ニミット

メインクラス	シーフ	Lv.1:		レベル	15
サポートクラス	バード	Lv.1:	バード	性別	女
称号クラス				年齢	29
種族	フィルボル			境遇	義理の親
出自(効果)	魔術師			目標	無目的

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	15	12	23	7	21	17	9
ボーナス	5	4	7	2	7	5	3
クラス修正	0	1	1	0	2	1	1
他修正							
能力値	5	5	8	2	9	6	4

HP	121
MP	111
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	ナイフ	至近	0	3	0	0	0	0	0
左手	ナイフ	至近	0	3	0	0	0	0	0
頭部	風音の帽子				2			2	
胴部	フィルボトラベルジャケット				2	4		2	
補助	バックラー				1	2			-1
装身具	楽器								
能力値			5	0	8	0	6	17	10
スキル								3	
その他									
総計(右)			5	3					
総計(左)			5	3	13	6	6	24	9
総計(両)			5	6					m
ダイス数			3 d	2 d	3 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	9			9	+ 3 d
トラップ解除	5		1	6	+ 2 d
危険感知	9			9	+ 2 d
エネミー識別	2			2	+ 2 d
アイテム鑑定	2			2	+ 2 d
魔術判定					+ d
呪歌判定	6			6	+ 2 d
錬金術判定					+ d

所持品	
HPポーション*3	
MPポーション*3	
バックパック	
ベルトポーチ	
冒険者セット	
ナイフ*10	
毒消し*3	
シーブズツール	
ポーションホルダー	

現在重量: 25

最大重量: 42

所持金: 2496

預金・借金:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ニンプル	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果: 作成時に行動値+3								
ワイドアタック	1	4	メジャー	武器	範囲(選択)	命中		
効果: 武器攻撃を行う。2体以上を対象に取ったらダメージ+[SL×2]								
バタフライダンス	★		パッシヴ		自身			
効果: 回避+1D								
ストライクスロー	2		パッシヴ		自身			
効果: 投射ダメージ+[SL×4]、射程+10m								
エチュード	4	4	メジャー	20m	範囲	呪歌		
効果: ダメージ+[SL×2]								
ジョイフルジョイフル	1	7	メジャー	20m	単体	呪歌	シーンSL回	
効果: 未行動状態にする								
アームズマスタリー:短剣	★		パッシヴ		自身			
効果: 短剣装備時命中+1d								
ヒムノディ	★		メジャー	20m	範囲	呪歌	シナリオ1回	
効果: MP[3d+CL×3]回復。自分以外								
ファイトソング	1		セットアップ	20m	単体※	自動成功	シナリオ1回	
効果: シナリオ1回スキルの使用回数回復。								
バスカー	1		パッシヴ		自身			
効果: アリプレイに所持金+[精神×100]G								
アカンパニー	1	8	SUダンサースキル使用時		単体		シーンSL回	
効果: ダンサースキルのSL+2								
ファインドトラップ	1		パッシヴ		自身			
効果: トラップ探知+1D								
マジックノウリッジ	1		パッシヴ		自身			
効果: 魔法関連の知識ロール+1d								
エンラージリミット	1		パッシヴ		自身			
効果: 携帯品の所持量を筋力基礎値*2に								
フェンサー I	1		武器攻撃		自身	自動成功		
効果: フェイト1点消費。ダメージ+[対象の数]d								

ニミット・エーリクス
ある高名なエルダナーンの魔女に拾われた孤児として過ごす中、お師匠様は他種族の寿命感覚がわからないのでずっと彼女を子供だと思って育てていた。フィルボルであるニミットはぶっちゃけとくくに大人だったが、ぶっちゃけ楽に生きていけるので出来の悪くて懐っこい子供のように振る舞って見習いの小僧として暮らしていた。中世的で小柄な外見の合法ショタ。本人に魔法を学ぶ気は1ミリもなかったので気楽なものである。

ある日ついにバレた。
目鼻立ちの美しいニミットは魔女様によって「いつかイケメンに成長して師匠をちやほやしてくれる予定の弟子」だったのだが、ぶっちゃけ大きくはならないし、そもそも女の子だった。

その日のうちにたたき出された彼女は路銀を稼ぎつつ放浪の旅をするハメになったが、まあ気楽なものである。だって、お師匠様に拾われる前から、そうやって過ごしていたんだし。

「あんたちっとも育ちゃしないねえ」
「お師匠様がもっといいもん食わしてくれれば〜」
「ったく、口の減らない子だねえ」

近況
冒険者になったはいいが、入ったギルドがろくでなしばかりでとても楽をさせてもらえそうにはない。自力で生きていけるよう、持ち前の器用さを生かして投げナイフの練習を始めたようだ。

